



愛媛医療センターの新病棟は7月に無事オープン致しました。まずはこれまでにお世話になりました関係者の皆様にお礼を申し上げます。

今年の夏は記録的猛暑でした。猛暑の中で思ったことは新病棟が7月に完成していて本当に良かったということです。旧病棟では24時間の冷房は難しく、暑い夏の夜を過ごしてもらっていただけだったので、今年の入院患者さんには快適に夜を過ごしてもらえたと安堵しております。回診で病室を訪れたときにも患者さんから「きれいになりましたね」と言ってもらい嬉しく感じる事がたびたびです。

2020年のオリンピックが日本で開催されることが決まりました。停滞している日本の社会・経済がオリンピックという目標に向けて前向きに回転していってくれることを望みます。当院

の整備構想は①新病棟新築、②サービス棟新築、③外来管理棟新築の段階があります。新病棟が完成し、現在はサービス棟（給食施設、職員更衣室・休憩室・当直室）を建築中で、来年には完成します。そして残るのは外来管理棟の新築です。現在は外来から新病棟までの長い廊下を移動してもらっています。体力増進にはいいのですが、患者さんには負担が強すぎるくらいに長く、車いすやベッドでの移動を強いられます。スタッフにとっても移動に時間を取られ効率が悪い配置になっています。外来棟・管理棟は費用面でも大きなものになり大変ですが、なるべく早く新病棟の近くに完成させるべく職員一丸となって前進するつもりです。

院長 岩田 猛



# 新病棟



東温市総合公園から



塩分森 (標高524.7m) から

当センターの望遠レンズでは、  
これが精一杯です。

## アツチから



## コツチから



東温市樋回から



夜の貌



# テキパキやって キビキビ動く

××号室  
じゃなかったつけ…

〇〇さんは…



もうすぐ着くよ



ちょっと胸の音  
聞いとこうか



## 患者移転 無事完了

## 一般内覧会

水も  
ちゃんと出るよ～

アッ!ほんと～



あ～  
はいはい

こちらが  
4人部屋で…



は～ちゃん  
こっち～!

明るうて、  
きれいやねえ

できたて～  
ホヤホヤ～



## 第7回 臨床研究部講演会

6月26日(水)に恒例の臨床研究部講演会を開催致しました。今回は長崎医療センター臨床研究センター長八橋弘先生(八幡浜市出身)に来ていただきました。長崎医療センターでは30年前のB型肝炎ウイルス発見時より肝炎ウイルスの研究が続けられており、現在では全国から50万の血液サンプルを保存されているとのことでした。数々の業績を上げられ、NHOの肝疾患グループリーダーであるみならず、全国的にも中心施設の一つになっています。講演では綺麗な病院(医師200名弱、643床)の紹介に続いて、B型肝炎ウイルスの遺伝子タイプについて興味ある結果を話されました(日本にはBタイプ(縄文タイプ)とCタイプ(弥生タイプ)が分布していること、最近Aタイプ(欧米タイプ)が増加してきて、増殖が遅く慢性化しやすいことなど)。その他に、NHOネットワーク共同研究(肝疾患)の30数施設が共同して自己免疫性肝炎患者に特異な遺伝子異常(SNP)のあることを発見したことを話されました。また、最近肝炎ウイルス感染者1万人を対象にアンケート調査を行い、感染者の悩み・問題点の詳細な調査をされているとのこと、調査結果を基にして今後の患者ケアを考えていくとのことでした。最後に、B型肝炎ウイルスワクチンの話やC型肝炎ウイルスの治療薬の最新の開発状況も話していただきました。

先生のお話から、長期にわたる地道な臨床研究の大切さがわかりましたし、優れた研究をすることが病院の発展にも関係することが推察されました(大村市は人口10万人ですが、研修医にも人気があり現在40名とのことでした)。

病棟移転直前とあって出席人数を心配しましたが、予想以上に多数の方に参加していただきました。今後も優れた研究についての講演会を続けてゆきたく思いますので、ご参加宜しく願います。

臨床研究部長 松田 俊二



### 小児科医長の 矢野です。よろしく

初めまして、7月16日に赴任してきました小児科の矢野喜昭です。じつは、今回の勤務は2回目



となります。1回目の勤務は、平成12年9月から平成15年5月の間で国立療養所愛媛病院の時代でした。今振り返ると、この時期は私の人生の中で重要な時期でした。

まずは、研修医の時期を2年間愛媛大学小児科で過

ごし、初めて関連病院へ赴任した病院であったこと、次に、一般小児および重症心身障害児・者の方々に対する診療の基礎を教えて頂いたこと、最後に、結婚し子どもを授かった時期であったことです。今回、このように私の人生に影響を与えてくれた病院に戻ってきた事に感謝しています。

愛媛病院小児科は、主に喘息やネフローゼ症候群など慢性疾患の子ども達に対して、医師、看護師、指導室スタッフと隣接する養護学校が連携し長期入院療法を行っていました。医療の進歩に伴い対象となる子ども達が減り、小児科外来も休診となりましたが、新たな慢性疾患を対象とした小児科病棟を新病棟に開設した事に伴い、私は当センターに戻ってきました。

私の中では想定外の赴任ですが、10年経っても趣味はドライブと何も変わっておらず、患者さんのために他科の医師や他職種の方々と協力して治療していきたいと思っています。テレビ番組の続編の中には、期待を裏切り、残念な内容になることがあります。私の続編では、裏切ることなくより楽しい内容にしていきたいと思っておりますので、よろしくしく願います。



blowing the breeze from England

# かぜ 英国の微風

この度、当院の新病棟完成を記念して、7月30日に愛媛大学医学部創立40周年記念講堂で、“オックスフォードセミナー in 愛媛”を開催致しました。オックスフォード大学留学中の上司Fredrik Karpe教授が、外科医の奥様(Dr Gael Maclean)と長男(Anders君)と来日されました。平成18年に帰国後もほぼ隔年で彼らの自宅に招待を受けていましたので、今回は私なりの“お・も・て・な・し”の心で準備しました。



2階病棟スタッフと



左から岩田院長 Karpe教授 船田医長

定番の道後温泉エリアに滞在してもらい、松山城では伊予の歴史をなんとか説明し、Anders君の希望でとべ動物園に向かいました。真夏の動物園には参りましたが、温泉→食事会(宴会?)のビールは格別でした。その後、沖縄の離島に移動し、熱帯魚やカメ達と遊泳の後、真っ黒に日焼けして英国に戻られました。



## オックスフォードセミナー in 愛媛 '13.7.30

さて講演内容ですがGael Maclean博士による「Surgical Training in the UK including the experience of female surgeons」では英国の外科トレーニングシステムについて紹介がありました。次に、Fredrik Karpe教授による「Obesity, Diabetes and Cancer - what might the link be?」では糖尿病と発癌の共通パスウェイに関する講演が行われました。

当日は150名以上の参加者で盛況なセミナーとなりました。参加頂いた医師・コメディカル・医

学生など、各個人でセミナーの感想は異なると思いますが、彼らと接することにより海外の医療が身近に感じた方もいるのではと期待しています。また、国際人として自分を表現するための語学力へのモチベーションになれば、今回のセミナーを



開催した意味があるのかな?と思います。

機会があれば是非オックスフォードを訪れてみてください。古くは1200年代頃から設立されたカレッジが点在し、欧州の伝統と歴史に触れることのできる素敵な場所です。最後に、今回の機会を頂いた愛媛大学医学部附属病院院長檜垣貴男教授と当院岩田猛院長に感謝いたします。

循環器科医長 船田 淳一



沖縄 阿嘉島にて



# 慢性呼吸器疾患看護 認定看護師誕生

新人看護師として呼吸器内科病棟に配属され、約7年間呼吸器看護について勉強させていただきました。

その中で思ったことは、「呼吸器疾患患者は家族も含め、今後も疾患と向き合い生活していかなければならない。」でした。COPD（慢性閉塞性肺疾患）や間質性肺炎等は、診断された時から患者・家族は病気と共に生活をし、在宅で病気の管理をしていきます。少しずつ進行していく病気に対し、自覚する症状と照らし合わせながら現状を受け止め、時には生活スタイルの変更を余儀なくされます。先輩看護師に助言を頂きながら、このような患者・家族と向き合い、多職種と連携を図り、日々看護を行ってきました。その中で、もっと患者・

家族の支援ができる看護師になりたいと思い、慢性呼吸器疾患看護認定看護師研修に参加し資格を取得しました。

慢性呼吸器疾患看護認定看護師の主な役割としては、「安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた呼吸器機能の評価及び呼吸管理」「呼吸機能維持・向上のための呼吸リハビリテーションの実施」「急性増悪予防のためのセルフケア支援」が挙げられています。2年前に新しく認可された分野であり、愛媛県内には私を含め2名しかおりません。

今後、慢性呼吸器疾患患者・家族が、疾患と共にその人らしく生活していける支援ができるよう頑張りたいと思います。また、看護師としても今後、様々な経験を積む必要がありますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

4階病棟看護師 大上 静香



## コケたら痛いじゃすまんけん 転倒・転落防止の取り組み

医療安全への重要な取り組みの1つに、転倒転落事故防止があります。これは患者安全の基本的事項であり国立病院機構でも共通の課題です。愛媛医療センターでも、様々な取り組みを日夜頑張っております。

入院中は、運動する機会も少なくなり、足腰の筋力が低下します。自分ではできていると思っていても、身体が思うように動かないことも多々あります。

また、住み慣れた自宅とは異なる環境が、病院内での転倒・転落につながることもあります。安心して療養していただけるように努めておりますが、安全性を高めるためには、ご家族の協力が欠かせません。ご家族との協力体制を築きながら、全員で事故防止に努めています。

1. トイレ歩行時は足元に注意！  
遠慮なくナースコールを押しましょう。
2. スリッパ・サンダルは滑りやすいので、履き慣れた靴を履きましょう。
3. 睡眠薬は転倒のリスクが高くなります。  
飲む前にトイレを済ませましょう。
4. 大丈夫と思っていても体力・筋力が落ちています。  
歩く時には、手すりや杖を利用しましょう。
5. 立ち上がる時は、動かない物を支えにしましょう。





## 看護学生募集中

看護の道を私達と一緒に目指してみませんか。  
入学試験の概要は、下記のとおりです。詳細は、看護学校へ  
お問い合わせ頂くか、ホームページをご覧ください。

	推薦入学試験	社会人入学試験	一般入学試験
募集人員	15名程度(愛媛県内)	5名程度	20名程度
出願期間	平成25年10月15日(火)~10月28日(月)		平成25年12月11日(水)~12月26日(木)
試験日	平成25年11月13日(水)		平成26年1月22日(水)
試験科目	学科試験：数学Ⅰ 英語Ⅰ・Ⅱ 小論文 人物考査：面接	学科試験：英語Ⅰ・Ⅱ 小論文 人物考査：面接	学科試験：数学Ⅰ 英語Ⅰ・Ⅱ 国語総合(古文・漢文除く)・現代文 人物考査：面接
合格発表	平成25年11月27日(水)		平成26年2月6日(木)
入学手続期	平成25年11月28日(木)~12月9日(月)		平成26年2月7日(金)~2月18日(火)

<お問い合わせ先>

〒791-0281 愛媛県東温市見奈良1545-1 国立病院機構愛媛医療センター附属看護学校 入学試験係  
電話 089-990-1830 ホームページ <http://www.ehime-nh.go.jp/school/>

## オープンスクール開催

7月20日・28日の2日間オープンスクールを開催し、高校生や社会人111名が参加されました。午前に学校の概要説明、公開講座「もしもの時にAEDを迷わず使えるために」を実施し看護学校での講義のイメージが伝わったと思います。午後はグループに分かれ、看護体験(AED、手浴、沐浴)・在校生との交流会を行いました。

参加者の緊張を感じましたが、在校生が丁寧に説明することで参加者に笑顔が見られ、看護技術に興味をもってもらえたと思いま



腕を伸ばして、垂直に…

す。在校生との交流会では、疑問がないか話しかけ、在校生が答えることで笑顔あふれる場となりました。病院にもご協力頂き、希望者のみ新病棟見学を行いました。参加者から「思った以上に1日が早かった」という声が聞かれ、在校生も本校を目指した頃を思い出し、看護師になるという強い思いを新たにしました。

3年生 岩見 枝里・山本 侑香里

学び舎から

住んでい  
東温市に  
神として  
然の守り  
時からの  
誕生した  
血ヶ嶺が  
東温市の  
その昔、  
うのは、  
その昔、  
東温市の  
血ヶ嶺が  
誕生した  
時からの  
神として  
住んでい



九月二十九日例年行われて  
いる東温市健康フォーラムに  
今年は東温市のゆるキャラ「い  
のとなん」がやってきました。  
大人から子どもまで「いのと  
ん」の周りに人が集まり一緒  
に写真を撮ったり大人気です  
。私も今回初めて「いのとなん」  
をしりましたが、けっこうか  
わいい、というか、かなりか  
わいかったです。  
今、ゆるキャラ大ブームで  
すが、ゆるいマスケットキャ  
ラクターの略で二〇一〇年か  
らゆるキャラグランプリが始  
まったようです。二〇一二年に  
は愛媛県のバリエーションが全  
国第一位となり、今やかなりの  
有名人(っ)ですね。  
そもそも「いのとなん」とい  
うのは、  
その昔、  
東温市の  
血ヶ嶺が  
誕生した  
時からの  
神として  
住んでい

る白いイノシシといわれてい  
ます。そしてゆるキャラ「い  
のとなん」の名前の由来は東温  
市の名産「白猪の滝」の伝説  
の「白いのしし」の「いの  
と」「つおん」の「と」「ん」  
で「いのとなん」としたそうです。  
みてるだけで笑顔になる  
人を笑顔にさせるというのは  
本当にすごいことですね。愛  
媛医療センターにも、そんな  
ゆるキャラがいればなあ。最  
近個人的にはあまりいい話が  
なくて、テンション下がりが  
気味でしたが、「いのとなん」を  
みてかなり癒やされました。  
さてゆるキャラグランプリ  
二〇一三も開催され九月十七  
日から十一月八日までが投票  
期間です。東温市のゆるキャ  
ラ「いのとなん」は今年エント  
リーしていますので東温市あ  
げて応援したいですね。  
皆さんも是非「いのとなん」  
に一票を！(九月末現在で、い  
のとなんは一五四位、同じ愛媛県  
のみきゃんは二三位、ちなみ  
に一位は静岡県の出世大名家  
康くん)

かつちゃん

## ちよつと言いつ

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。



**外来診療担当医表** 内科外来直通電話 089-990-1834 FAX 089-990-1858  
 外科外来直通電話 089-990-1835 FAX 089-990-1859

診療科	月	火	水	木	金
循環器内科	岩田 船田	船田 藤田	藤田	岩田	船田
消化器内科	古田	山内(一)	久保	山内(一) 糖尿病専門 廣岡	久保
呼吸器内科	阿部	市木 渡邊	佐藤	阿部 植田	市木
神経内科	橋本	篠原			戸井
外科			石丸		
消化器外科		鈴木		渡部 (隔週・午前)	
呼吸器外科				澤田・末久 (第1・15時~)	湯汲
整形外科 午前のみ診療	横手 宮本		横手	宮本	宮本(第2・4)
専門外来 (完全予約制)	心臓リハビリ 藤田	心臓リハビリ 藤田	心臓リハビリ 船田	心臓リハビリ 船田	心臓リハビリ 藤田
	SAS外来 渡邊 (14時~16時再診のみ)	スキンケア外来 第1・3(午前)	ペインクリニック 山内(康)	ペースメーカー外来 第2・4 午後	糖尿病外来 古川(第2・4)
	小児神経外来 矢野(午後)	アスベスト外来 (13時~16時)	SAS外来 植田(午後)	フットケア外来 毎週	じん肺外来 西村(第1・3午前)
			神経難病 橋本	アスベスト外来 13時~16時	小児神経外来 矢野(午後)

※外来受付は午前8時30分から午前11時までです。ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。2013年10月1日現在  
 ※SAS(睡眠時無呼吸症候群)

**独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター**

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
 ホームページアドレス <http://www.ehime-nh.go.jp>

**当院の位置と交通**



**高速道路川内ICまでの所要時間**

- 三島川之江IC(70km) 50分
- 高松西IC(130.9km) 1時間30分
- 徳島IC(170.9km) 1時間50分
- 高知IC(130.1km) 1時間30分  
(川内ICから当センターまで車で5分)

**交通機関**

- 電車 伊予鉄高浜横河原線横河原駅下車徒歩7分  
または、愛大医学部南口駅下車徒歩3分
- バス 伊予鉄松山市駅川内方面行横河原下車徒歩10分  
松山市から30分 伊予市から40分 西条市から60分
- 自家用車 無料駐車場完備

※弊誌の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解を頂いております。